

本社 〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300 TEL.0538-23-2000(代)

- 農機営業部 [農機営業企画課] TEL.0538-23-2822 FAX.0538-23-2990
[サービス推進課] TEL.0538-23-3305 FAX.0538-23-2890
[施設設計課] TEL.0538-23-2661 FAX.0538-23-2674
- 産機営業部 [産機営業企画課] TEL.0538-23-2825 FAX.0538-23-2890
- 海外営業部 TEL.0538-23-3990 FAX.0538-23-3192
- 技術部 TEL.0538-23-6861 FAX.0538-30-0135
- 製造部 TEL.0538-23-2311 FAX.0538-23-2317
- 物流管理室 TEL.0538-23-0203 FAX.0538-23-2690
- 品質保証室 TEL.0538-23-3361 FAX.0538-23-2656
- 管理部 TEL.0538-23-2000 FAX.0538-23-3125

営業所

- 北海道営業所 〒007-0804 北海道札幌市東区東苗穂四条3-4-12
[農機分野製品] TEL.011-781-2234 FAX.011-780-2273
[産機分野製品] TEL.011-782-5294 FAX.011-782-8258
- 東北営業所 〒989-6136 宮城県大崎市古川穂波3-1-14
[農機分野製品] TEL.0229-23-7210 FAX.0229-21-1330
[産機分野製品] TEL.0229-23-7219 FAX.0229-21-1464
- 新潟営業所 〒950-0923 新潟県新潟市中央区姥ヶ山1-5-30
[農機分野製品] TEL.025-287-1110 FAX.025-257-1197
- 関東営業所 [農機分野製品]
〒302-0017 茨城県取手市桑原1424-1
TEL.0297-73-3530 FAX.0297-70-1137
[産機分野製品]
〒175-0094 東京都板橋区成増1-17-2
TEL.03-6904-3786 FAX.03-6904-0302
- 中部営業所 〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300 営業棟1階
[農機分野製品] TEL.0538-23-1725 FAX.0538-23-1726
[産機分野製品] TEL.0538-23-1605 FAX.0538-23-1608
- 北陸営業所 〒920-0365 石川県金沢市神野町東52
[農機分野製品] TEL.076-249-6177 FAX.076-240-9333
- 関西営業所 〒661-0032 兵庫県尼崎市武庫之荘東2-10-8
[農機分野製品] TEL.06-6432-7890 FAX.06-6434-2184
[産機分野製品] TEL.06-6432-7880 FAX.06-6432-7487
- 中四国営業所 〒700-0975 岡山県岡山市北区今2-8-12
[農機分野製品] TEL.086-244-4123 FAX.086-244-9300
- 九州営業所 〒835-0004 福岡県みやま市瀬高町山門1841-1
[農機分野製品] TEL.0944-88-9793 FAX.0944-88-9794
[産機分野製品] TEL.0944-88-9136(九州(宮)駐在) FAX.06-6432-7487



光風熱

自然と人とのコミュニケーション

技術と創意で、 未来に続く橋渡し役に

静岡製機は、「創意を発揚し 社会に進歩と安定を」の社是の元に常に世の中の新しい技術を取り入れながら、農家の皆様に、あるいは産業に従事する皆様に利便性、快適性、そして画期的な作業性を提供し110年を越える歴史を紡いでまいりました。

少子高齢化社会が進む日本では、社会のあらゆるところでさまざまな支援が必要とされています。私たちも、これまで培ってきた力にさらなる技術や知識を積み上げていくことで、パフォーマンスを発揮する場は無限にあると確信しています。

これまでの歴史で築き上げた技術をブラッシュアップし日本そして世界が向かう次のステージへの橋渡し役となるよう、これからも挑戦を続けてまいります。



代表取締役社長 鈴木 直二郎



経営理念

創意を発揚し、社会に進歩と安定を

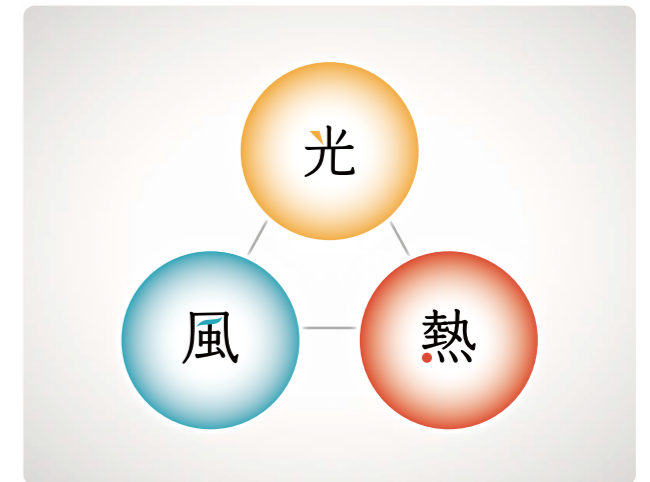
行動指針



コア技術

自然の摂理を製品に応用

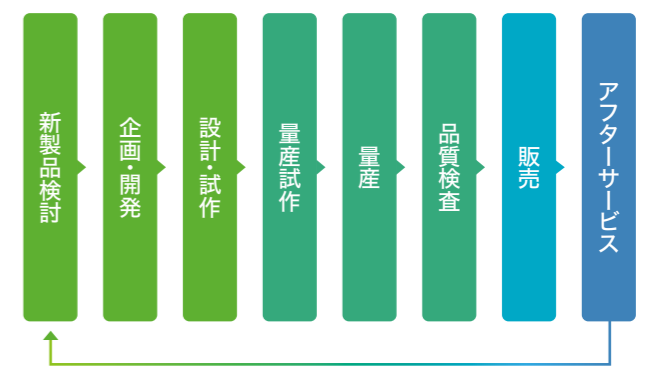
太陽から届いた「光」が地上や海上を温め「熱」となる、熱が気圧差を生み「風」が生じる。こういった大自然のメカニズムはムリやムダがなく、合理性や持続可能性も持ち合わせています。当社のコア技術は、これら自然の理を象徴する「光・風・熱」をつぶさに観察して製品に応用することを基本にしています。例えば当社の気化式冷風機は水が蒸発するときに周囲の熱を奪う現象、気化熱を利用しています。昔の人の知恵、打ち水と同じ原理を応用した製品です。近年は、開発スピード向上に加えて、長く安心して使い続けられる製品づくりとサポート体制強化に一層注力。進歩が著しいデジタル技術も積極的に取り入れ、当社のコア技術をさらに進化させてまいります。



全社一体のものづくり

Made in Shizuoka、拠点集約型のものづくり

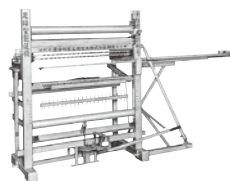
お客様が求める機能・性能を的確に捉え、時代に先んじた製品を生み出すために静岡製機では、営業・開発・製造・品質保証などの各部門を同一敷地内に集約し、企画から製造までを最短で結ぶ一貫生産体制を構築。部門間の距離が近く、迅速な意思疎通と共通認識のもとで開発を進められる点が特長です。市場の声を速やかに反映して穀物乾燥機や業務用ヒーターといった主力製品の信頼性を高めるとともに、離れた場所でもリアルタイムで乾燥機の状態を把握できる遠隔モニタリングシステムなど、先進的な開発を実現しています。



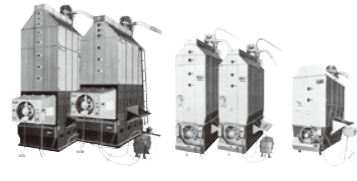
HISTORY

静岡製機110年の歩み

- 1914年 (大正3年) ● 鈴木貞三郎個人経営にて製筵機の製造販売を始める(初代)
- 1938年 (昭和13年) ● 株式会社に組織を変更し、鈴木製筵機製造株式会社と名称を改め、鈴木貞三郎社長に就任
- 1941年 (昭和16年) ● 同業3社を合併して資本金18万円で静岡製筵機製造株式会社を設立
- 1952年 (昭和27年) ● 鈴木伊作社長に就任(第2代)
- 1953年 (昭和28年) ● 鈴木重夫社長に就任(第3代)
- 1958年 (昭和33年) ● 商号を静岡製機株式会社と改称
- 1968年 (昭和43年) ● 浅羽工場(磐田郡浅羽町諸井)完成
● 循環型乾燥機(送風圧送式)「SPD」発売
- 1975年 (昭和50年) ● 赤外線オイルヒーター「VAL6-I」発売
- 1976年 (昭和51年) ● 自動水分計(電気抵抗式)「コメツS」発売
- 1978年 (昭和53年) ● 本社ビル完成
- 1986年 (昭和61年) ● 技術センター完成
- 1993年 (平成5年) ● 農産物低温貯蔵庫「菜庫(さいこ)」発売
● 家庭用生ゴミ処理機「エコロンポ」発売
- 1994年 (平成6年) ● 鈴木重夫が会長に、鈴木直二郎が社長に就任(第4代)
- 1997年 (平成9年) ● ISO9001認証取得
- 1998年 (平成10年) ● 鈴木重夫会長、相談役に就任
● 「遠江工貿(大連保稅区)有限公司」開業
- 2001年 (平成13年) ● ISO14001認証取得
● 気化式冷風機「RKF400」発売
- 2005年 (平成17年) ● 「遠江工貿(大連保稅区)有限公司」を「大連静岡制机有限公司」に改称
- 2007年 (平成19年) ● 株式会社プランエコ設立
● 農産物直売所とれたて食楽部を開業
- 2009年 (平成21年) ● 遠赤外線電気ヒーター「ホカotte」発売
- 2010年 (平成22年) ● 「SHIZUOKA SEIKI CANADA INC.」設立
- 2012年 (平成24年) ● 「静岡ハンソン株式会社」設立
- 2014年 (平成26年) ● 創業100周年を迎える
- 2016年 (平成28年) ● 「SHIZUOKA SEIKI AMERICAS INC.」設立
● 「SHIZUOKA SEIKI CANADA INC.」吸収(閉鎖)
- 2021年 (令和3年) ● 本社移転、新本社ビル完成
- 2024年 (令和6年) ● 健康経営優良法人認定



1914年 製筵機

1968年
循環型乾燥機SPD2006年
遠赤外線乾燥機SAC(ドライゴン)

1986年 技術センター完成

2005年
「遠江工貿(大連保稅区)有限公司」を
「大連静岡制机有限公司」に改称2007年
株式会社プランエコ設立
農産物直売所とれたて食楽部を開業

2012年 「静岡ハンソン株式会社」設立

2016年
「SHIZUOKA SEIKI AMERICAS INC.」設立

2021年 本社移転、新本社ビル完成

環境にやさしい技術は、 すべての人にやさしい。

静岡製機は、サステナビリティを特別な活動ではなく、日々のものづくりと事業活動の延長線上にあるものと考えています。これからも自然現象を生かす「光・風・熱」の技術を磨き、環境・社会・経済の調和を意識した事業活動を進めていきます。

静岡製機 サステナビリティ 基本方針

ひとにやさしく
自然にやさしく

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



使い続けられる安心を

- 「壊れにくく、直しやすい」長寿命設計
- 設計から出荷まで一貫した品質管理体制
- 迅速な部品供給や整備マニュアルの充実
- お客様の声を製品改良・新製品開発に反映



個性が輝き、共に成長できる職場へ

- 多様な働き方の推進
- 社員の心身の健康と安全の追求
- 資格取得支援や充実した研修制度で成長を応援
- 防災訓練・安全衛生委員会による安全管理



誠実な協力体制で共に歩む

- 公正で透明性の高い取引の徹底
- 品質・納期安定に向けた協力体制
- Scope3を意識したサプライチェーンの改善
- 再生材活用の提案



地域社会の安全と活性化を支える

- 地域イベントへの協賛・ボランティア活動
- 工場見学などを通じた次世代教育への貢献
- 農産物直売所「とれたて食楽部」の運営
- 災害時の製品提供による防災支援



技術革新で、低炭素・循環型社会へ

- 冷媒(フロン)不使用の気化式冷風機の開発
- 粉殻を再利用する循環型農業の提案・実装
- 粉体塗装による省資源・環境負荷低減
- 製品の省エネルギー性能向上

ネット・ゼロ・エネルギーを本社から

2021年に稼働した新本社屋は、徹底した省エネ設計と太陽光発電による創エネを組み合わせ、年間の一次エネルギー消費量収支ゼロを目指す「ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)」を実現しました。さらに、社用車への電気自動車(EV)導入を順次進めるなど、自社拠点における脱炭素化を加速させています。また、本社ビルは免震構造とするとともに非常食・飲料水を備蓄しており、万一の大規模災害時には地域の防災拠点として機能します。



AGRICULTURAL PRODUCTS

農業の効率化・省人化を通じて日本の「食」を支える



日本の主食である「お米」の品質向上と共に歩んできた、静岡製機の農業機械分野製品。お米の品質は、乾燥・選別・保管といった工程によって大きく左右されるため、当社では水分を最適にコントロールする主力の循環型乾燥機をはじめ、粳すり、選別、計量、貯蔵、そして精米まで、収穫後のあらゆるプロセスを網羅するトータルソリューションを提供。野菜や各種穀物用乾燥機、園芸用CO₂施用機など、畑作や園芸、食品の保存・加工といった幅広い需要に応える製品もラインナップしています。近年は、農業の大規模化や人手不足を受けて高まり続ける省力化・自動化へのニーズに応え、遠隔モニタリングなどICTの活用を推進。海外では「SHIZUOKA」の名前で親しまれている当社製品は、品質や耐久性といった現場からの信頼で選ばれています。

乾燥調製工程と当社製品の関わり



導入実績 県内屈指の大規模経営を支える17台の信頼

— 袋井高山農園株式会社(静岡県袋井市) 代表取締役社長 寺田隆雄

0.1%へのこだわりで、静岡製機の水分計

「コメのおいしさと保存性を両立させるには、水分管理こそが命です」と語るのは、代表取締役社長の寺田隆雄氏。乾燥させすぎれば米粒が割れ、不十分なら食味や保存性が落ちる。コメの種類や季節によって0.1%単位で違いが出るというシビアな調整において、寺田社長が長年信頼を寄せているのが静岡製機の「水分計」の精度です。「水分計が最初に搭載されたモデルから使っていますが、最新のTCZ型は、大風量による確かな乾燥スピードがありながら、水分のばらつきが極めて少ない。この安定感があるからこそ、私たちは自信を持って『高山農園のお米』を出荷できるんです」



誰でも“プロの仕上がり”を実現する操作性

人手不足が深刻な課題となる中、TCZシリーズで新搭載されたタッチパネルも大きな力になっています。「品種や条件に合わせたセットが誰でも直感的に行える。操作のしやすさは、忙しい収穫期のミスを防ぎ、現場の負担を大きく軽減してくれます」。さらに評価が大きいのが、耐久性と保守体制。20年前の機種も現役で稼働しています。「結果として、今では17台すべてが静岡製機製になりました」と語ります。一方で、消耗品の寿命やメンテナンス性のさらなる向上など、改善の要望は尽きるところがないと笑う寺田社長。「メーカーとユーザーの垣根を越えて、より良い乾燥機を一緒につくっていったら」と期待を寄せます。日本のコメづくりを支える現場とともに、静岡製機の技術はこれからも進化を続けていきます。



袋井高山農園株式会社 静岡県袋井市見取1402

江戸時代から続く長い歴史を持ち、現在では作付面積約170ヘクタール(東京ドーム36個分)、コメ生産量800t~900tという、県下最大級の規模を誇る。コメを中心に、小麦や大豆の生産を通じて地域の農業と食の基盤を守り続けている。

INDUSTRIAL PRODUCTS

「光・風・熱」を操り、あらゆる現場に「快適環境」を

業務用
熱機器冷風機 環境関連
機器 加湿器

主要製品カテゴリー



気化式冷風機 RKF406α



業務用加湿機 HSE242



遠赤外線電気ヒーター ホカッて WPS-46



赤外線ヒーター VAL6 PKII

静岡製機の産業機械分野製品は、農業機械事業で培った高度な熱コントロール技術を応用し、工場、物流倉庫、建設現場、イベント会場など、人々の「働く現場」環境改善を支える製品群です。

当社の産業機械分野製品が持つ強みは、自然の原理を生かした省エネルギー性と、現場での使いやすさを両立している点にあります。フロンを一切使用せず、水の気化熱を利用して周囲温度を下げる環境配慮型製品の「気化式冷風機RKFシリーズ」や、北米では「赤外線ヒーター VAL6」シリーズなど、独創的な製品が国内外で活躍しています。近年は、脱炭素社会の実現に向け、従来の灯油式に加え電気ヒーター（WPSシリーズ等）のラインアップを拡充するなど、エネルギーシフトへの対応を加速させています。

「風」と「熱」の技術でカーボンニュートラルに貢献

2021年に開催された東京オリンピック・パラリンピック。その過酷な暑さ対策として、当社の「気化式冷風機 RKF406」約1,000台が採用されました。電力使用を最小限に抑えながら涼感を生み出す「風」の技術は、世界中のアスリートが集まる競技会場や大会運営の最前線を支え、環境負荷低減に大きく貢献しました。また灯油を使用しない電気ヒーターのシリーズ化を進め、従来の北米市場に加えて中東での販売を強化するなど、日本で磨いた環境技術を世界各国のニーズに合わせて展開しています。



気化式冷風機シリーズ



「涼やかな風」

野球施設が選んだ

東海地区最大級の

導入製品

冷風機 RKF406α:4台、
RKF506α:1台導入
実績

40°C超の屋内を、30分で“練習できる環境”へ

— Baseball Park 森ドーム(静岡県湖西市) 森オーナー

40°Cを超える屋内練習場。エアコンに頼らない解決策

「地元の子どもたちが本気で練習できる場をつくりたい」。その想いが結実し、資材倉庫を改築して誕生した「森ドーム」。しかし屋内施設ゆへの課題が、真夏のオープン時に40°Cを超える室温でした。

「この広さで利用しやすい料金も維持するとなると、エアコン導入は現実的ではありません。しかし、近年の酷暑では熱中症対策は避けて通れない課題でした」とオーナーの森氏は振り返ります。

大型扇風機でも効果が足りず、スポーツショップの紹介で出会ったのが静岡製機の気化式冷風機「RKF」でした。



いつでもどこでも、想像以上の涼しさを

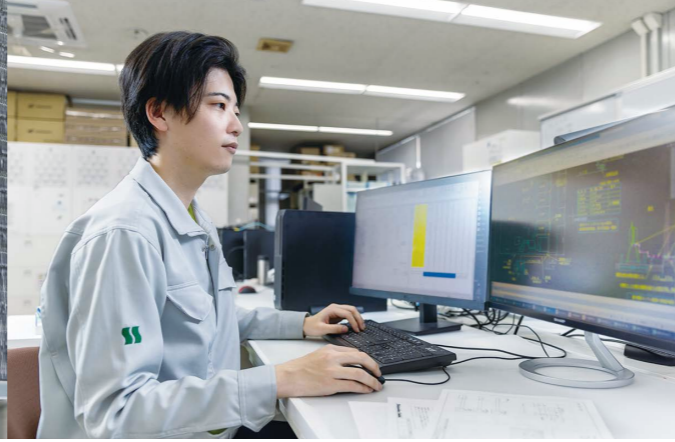
当初は「水でどこまで冷えるのか」と懐疑的だったという森オーナーですが、デモを通じて風量と冷えを実感。「移動も簡単で、練習内容に合わせて最適な場所を冷やせるのが決め手」となりました。現在は、RKF406α×4台・RKF506α×1台を運用し、真夏でも準備開始から約30分で練習エリアは適温に。見学ベンチやカフェエリアにも風を届けられ、保護者からの評価も高いといいます。懸念していた電力面も、スポットクーラーのような過負荷の心配がなく、省エネ性能を実感。「2シーズン連日稼働でもトラブルなし。夏の森ドームに欠かせない存在です」と大きな信頼を寄せます。

「いつか地元からメジャーリーガーを」。そう語る森オーナーの“熱い”夢を、静岡製機は“涼しい”技術で後押ししています。



Baseball Park 森ドーム 静岡県湖西市白須賀568

1,200㎡以上の広さと最新設備を誇る、東海地区最大級の屋内野球練習場。小学生から社会人まで幅広い利用者層に対応し、野球教室やエアリアル、野球関連イベントの主催など、野球の楽しさを広げる活動を行っている。2023年オープン。



技術部門

技術部門は、静岡製機の「ものづくり」を進化させ続ける中核的な存在です。農機・産機両分野において、機械設計を軸に電子制御やデジタル技術を融合。技術者が自らフィールドに足を運び、現場で本当に役立つ製品を追求しています。企画段階から市場の声を反映し、過酷な環境下を想定した試作・検証を繰り返すことで完成度を高めていく開発体制が特徴です。

近年は、耐久性や安全性、省エネ性能といった基本性能を磨き込んだ穀物乾燥機に加え、環境配慮型の冷媒と防犯対策をした農産物低温貯蔵庫、温暖化対策に貢献する気化式冷風機、近赤外線を極めたコメの食味分析計と、幅広い分野の技術で社会に貢献する製品開発に挑戦しています。



穀物乾燥機



農産物低温貯蔵庫



気化式冷風機



食味分析計

製造部門

「壊れにくく、万が一の際も直しやすい」。そんなお客様からの信頼の源泉は、本社・技術センターと同敷地内の工場で実現している、一貫生産体制にあります。

高品質な製品を安定して届けるため、当社製品の特徴である多品種少量生産に対応しながら、生産効率と品質向上を両立。熟練工が長年培ってきた「確かな手仕事」を大切にしながら、発泡成形機といった新設備の導入や工場屋根の遮熱による快適環境づくりなどの現場主導の改善活動を、積極的に進めています。近年では、新たにグリーン冷媒を使用したユニットの生産を開始。技術部門と密に連携し、静岡製機のものづくりを現場から進化させています。



冷蔵ユニット工程



工場屋根の遮熱



発泡成形機

海外営業部門

1970年代の欧州進出を皮切りに、現在は欧州・北米・東南アジアおよびオセアニアの代理店を中心に世界各地へ展開している「SHIZUOKA」製品。その営業活動とお客様サポートを担っています。各国の市場環境や使用条件を踏まえ、製品仕様や提案内容を柔軟に調整。現地パートナーとの連携を強化しながら、農機・産機両分野の海外展開を進めています。地域ごとに異なるニーズや環境に寄り添い、静岡製機の技術と信頼を世界に広げる部門です。



農機・産機の海外展開

物流部門

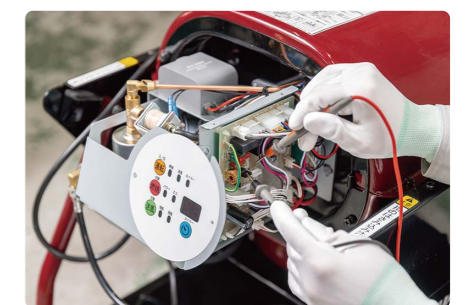
本社工場と全国各地の物流拠点を結び、製品と部品、そして信頼を確実にお届けする役割を担っています。お客様のニーズに迅速に応えるため、独自の「発注点管理システム」を導入。取り扱いアイテムを大幅に拡充しながら需要動向を的確に捉えた在庫管理を徹底し、保守部品の即納率98%以上を実現しています。「必要なときに、必要なものを、確実に届ける」という使命の下、当社製品のロングライフ化とお客様満足度の向上を物流面から支えています。



出荷センター(製品/部品)

品質保証部門

品質保証部門は、製品の品質と信頼を支える要です。設計段階から製造、出荷までの各工程でねらう品質を明確に定め、徹底したつくり込みを軸に未然防止を推進。万一の不適合には、事実に基づく原因究明と是正を速やかに行い、再発を断ちます。さらに、品質データや過去事例を生かして改善を積み重ねるとともに、市場から寄せられる声を分析し、開発・製造へ確実に還元。お客様の「安心」と「満足」を第一に、ものづくり全体の品質を高めています。



基板検査